

## 子ども110番の家

### 見守り活動を実施

9、10月に高富小学校区の「子ども110番の家」による、登下校時の子どもの見守り活動が行われました。

この活動は、岐阜県警の提案により試験的に行われたもので、本来子どもの避難先として設置されている子ども110番の家に新たに見守り活動の協力をお願いしたものです。今年度は高富小学校区をモデル校として、通学路沿いの14世帯が、指導旗を持って自宅付近に立つなどの見守り活動を行いました。

市内では、この活動や地域の見守り隊による日々の活動により、子どもたちの安全が守られています。



## 美山中2年生が

### 海を越えて職業講話を実施



10月12日、美山中学校2年生が、ビデオ会議システムを使って、海外在住の3人の日本人との交流授業を行いました。

コロナ禍の中、毎年行っている職場体験などが実施できず、中学校で代替案を検討し、オランダとフィンランド在住の日本人によるオンライン講座が実現しました。

この職業講話には、2年生37人が参加し、日本の中学校との違いや生活様式の違いの他、どうして海外に住み仕事をするようになったのかなど講師の生き方を学びました。

## 右見て左見て

### 横断歩道を渡ります

10月23日、梅原保育園で交通安全教室を行いました。

教室では、交通安全の歌を歌った後、指導員からキャラクターを使った交通安全の話を聞きました。その後、実際に信号機を使って交差点の渡り方を体験しました。

教室に参加した園児は真剣な表情で指導員の話を聞き、横断歩道の前で手を挙げて「右よし、左よし、右よし、横断よし」と大きな声で左右の安全確認を行いました。



## これからの山県を考える

### 高富中キャリアナビ2020



10月30日、高富中学校で職業講話キャリアナビ2020が行われました。

この講話は、市役所の若手職員が講師となりコロナ禍におけるさまざまな対策と、ふるさと山県のこれらを見つめるというテーマで実施されました。

各教室では、グループに分かれ、コロナ禍での防災対策など、より良い山県にするために何が必要か、生徒が見出した課題について、自分たちが考える現状と対策を市に提案しました。

当日は、生徒同士が活発な意見交換を行い、これからの山県市に対して願いを込めた意見が出され、有意義なものとなりました。

## 山県を花いっぱい 富小花かざり隊が活動実施



10月3日、富岡小学校で「富小はなかざり隊」の40人が、環境ボランティアの一環として、スミレやペゴニアなど190本の苗を植えました。この活動は、市内を花いっぱいにするに飾り「住みよいふるさと山県市」をつくることを目標に、自治会やボランティア団体が、市の助成を受け行っています。参加した児童は「みんなで力を合わせて、花壇にきれいな花を植えることができて良かった」と話しました。

## 四国山八十八箇所 霊場巡り案内板除幕式



10月1日、四国山香りの森公園で、四国山八十八箇所霊場巡りの案内板の除幕式が行われました。この看板は、岐阜北ライオンズクラブが主体となり、四国山を守る会の協賛のもと設置されました。看板には、四国山の由来や八十八箇所霊場巡りのルート案内が書かれています。式には市長も出席し「地域の方々や子どもたちの学びの場として活用してほしい」と話し、看板設置に対しての感謝を伝えました。

## 明治安田生命保険 相互会社に感謝状贈呈



9月29日、市役所公室で、明治安田生命保険相互会社から市に対し新型コロナウイルス感染症対策のために408,400円の寄附があり、感謝状を贈呈しました。明治安田生命保険相互会社は地域の人の暮らし・健康を豊かにするためのさまざまな取り組みを行っており、市とは令和元年に健康増進に関する連携協定を締結しています。いただいた寄附金は、市の感染症予防対策に活用します。

## 斧田自治会が宝くじの 助成金で防災資機材を整備



斧田自治会が、コミュニティ助成事業を活用して、防災資機材を整備しました。この助成事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環で、受託事業収入を財源に、災害から地域を守るための防災活動に必要な設備などの整備に助成しています。これにより同自治会では、防災・減災への備えの充実を図ることができました。

## 山県市で初開催! FC岐阜サッカー教室



10月25日、大桜グラウンドでFC岐阜サッカー教室が行われました。この教室は、市内では初めて開催され、FC岐阜スクールコーチの指導のもと、市内小学生24人と高富サッカー少年団37人が参加しました。教室では、グラウンドに置いたコーンの間をドリブルしたり、グループに分かれてリフティングをしたりしました。教室に参加した子どもたちは真剣な表情で、チームの中で自分がどう動いたら点を取れるか、自分たちで考え相談しながら練習に取り組んでいました。

## 大桑城跡の 赤色立体地図が完成



10月12日、市役所で大桑城跡の赤色立体地図の完成披露を行いました。この地図は、大桑城を含む約3kmの範囲に上空500mからレーザー光を照射して作成されたもので、地形を赤色の濃淡で表現し、立体的に地形が分かるものです。今後この赤色立体地図を活用し、大桑城跡の構造や城域などを検討し、大桑城跡の全体像の解明を進めます。この地図は、市役所ロビーをはじめ市内6カ所の公共施設に展示しています。